

JIU JITSU TODAY

VOL.
07

2024 SPRING

[ジウジツトゥeday]



JAPAN RANKING 2023 結果発表

大会レポート

CENTRAL JAPAN
TOKYO WINTER
ART.5

ART CHALLENGE.4

NAGOYA INTERNATIONAL

KYUSHU INTERNATIONAL OPEN

SJJIF
WORLDS 2024
日本開催決定!



スポーツクジ



すべての スポーツに エールを

スポーツくじの収益は、
日本のスポーツを育てるために
使われています。



くじを買うはエールになる

スポーツくじ



JIU JITSU TODAY 07 発刊

Greeting



まずは1月1日に発生した能登半島大地震で亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げるとともに、被災により避難を余儀なくされている方々、また負傷された方々には心よりお見舞い申し上げます。そして皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心より祈っております。

激動の幕開けとなった2024年ですが当連盟においては既報の通り9月に日本ではじめての世界大会となるSJJIF WORLDSを4日間に渡り愛知県武道館にて開催することが決まり、今年は大きく飛躍する一年になります。参加される選手の皆様も当連盟とともに日本の柔術界を盛り上げていただければ幸いです。



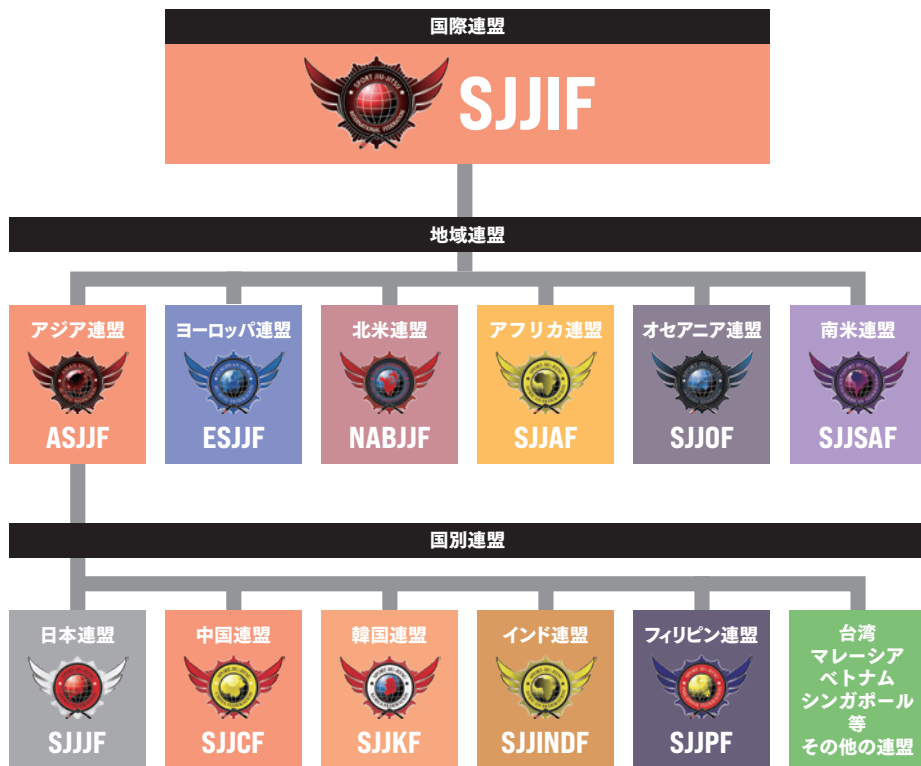
アジアスポーツ柔術連盟会長

籠原エチソン

SJJIF ORGANIZATION CHART

SJJIFは“柔術をオリンピック競技に！”をスローガンに掲げて、世界各地で柔術の競技大会の開催や普及活動に取り組んでいます。

SJJIF(スポーツ柔術国際連盟)の組織図



ス ポーツ柔術国際連盟は2013年にアメリカを拠点として設立され、柔術の普及とオリンピック種目への採用を目指しています。

これらを実現するため、SJJIFは各大陸に連盟を設けており、ASJJFは、アジア各国における啓蒙活動と柔術大会の運営、プロモーションを担っている

団体です。

SJJJFは国別連盟にあたり、ASJJFの統括の下に日本での大会運営などを中心に活動を広げています。

ASJJF & SJJJF 大会レポート

Report

佳境を迎えたASJJF JAPAN RANKING 2023を制したのは一体誰か？

そして大好評のうちに終了したプロ大会「ART.5」の全試合レポート、

「ART CHALLENGE.4」で本戦出場を目指す選手の活躍をぜひご覧ください！



CENTRAL JAPAN
TOKYO WINTER
ART.5

ART CHALLENGE.4
NAGOYA INTERNATIONAL
KYUSHU INTERNATIONAL OPEN

CENTRAL JAPAN 2023

DATE: 2023年11月25日(土)、26日(日)

VENUE: 青山記念武道館

2023年の年度最終戦となった今大会。師走の真ただ中、しかも祝日での開催ながらキッズもアダルトも大盛況で柔術熱の高騰ぶりが感じられた。

平田孝士朗が怪我から復帰してWゴールド ギリシャ人のエルメスも来日第1戦を快勝



ヒザの手術をして長期戦線離脱していた平田孝士朗(CARPE DIEM JIYU GAOKA)が今大会で試合復帰。アダルト黒帯ミドル&オープンクラスでマテウス・ヒロトミ(Impacto BJJ)とワンマッチ決勝戦で2連戦して2連勝、Wゴールド獲得した。



ギリシャから来日中のエルメス・パンタジディス(CARPE DIEM JIYUGAOKA)はCARPE DIEMの自由が丘でインストラクター。今大会で来日初戦を行い、マスター1黒帯ミドルとオープンクラスで優勝し、幸先のいい日本デビューとなった。



CARPE DIEM自由が丘のインストラクター2人がアダルトとマスター1の黒帯でそれぞれWゴールド。怪我から復帰の平田、来日第1戦のエルメスとも、いい結果を残せて満足な表情だった。



ノーギ・アダルト紫帯Wゴールドの井田黎(UJJC)は本来はライトフェザーながらミディアムヘビーで優勝し、その後はオープンクラスでも優勝。体格差を感じさせない試合ぶりは見事だ。



ノーギに続き、ギありでもWゴールドの井田黎(UJJC)は1大会で4つの金メダル=クアドラブル・ゴールドの快挙。ただ強いだけでなく極めて勝てるのが素晴らしい。



紫帯クアドラブルゴールドの井田黎の弟・井田徠(Impacto BJJ)はジュブナイル青帯フェザーとオープンクラスの決勝戦でルーカス・ナラザキ(チェクマットジャパン)と2回戦い、1勝1敗の戦績。フェザーはルーカスが勝ち、オープンでは井田が勝利している。



見事な絞めを極めてマスター3黒帯フェザーのワンマッチ決勝戦で伊達裕樹(ねわざワールド)から一本勝ちして優勝の岩村将秀(パラエストラ東大阪)。テクニシャンぶりが光った。



女子プレティーン橙帯ライトのワンマッチ決勝戦、中井朝陽(ボンサイ柔術)vsアिका・カヨ(小川柔術)は積極的に攻めていった中井が勝利して金メダルを手にした。

ティーン黄帯ライトで優勝したジョアオ・コバヤシ(チェクマットジャパン)はキッズカテゴリーで活躍中の新鋭。数多くの大会で優勝&入賞し、ASJJFランキング1位に輝く。



女子アダルト青帯オープンクラス決勝戦は松野保奈未(EVOX BJJ)とハファエラ・アユミ(INFIGHT JAPAN)の間で争われ、松野がアユミを極めて一本勝ちで優勝。大会後に紫帯に昇格している。

TOKYO WINTER 2023

DATE:2023年12月2日(日)

VENUE:墨田区総合体育館

参加者が1000人にも及ぶ勢いだった今大会は会場にマットを持ち込んで6面での開催。早期締め切りにもなった人気大会で年の瀬でもこれだけの参加者がいたのは驚異的だ。



本来はマスターの年齢ながらあえてアダルトで参戦した廣緒翔大(YAWARA)が2試合とも三角絞めを極めて茶帯ルースターで優勝、表彰台で黒帯に昇格を果たす。



大会でなかなか結果が出なかった西潟裕貴(大賀道場千代田)だが今大会ではマスター2茶帯オープングラス制覇。巨漢のアレクサンドレ・アツシ(Impacto BJJ)からサウンデスで渾身のスパー炸裂。

茶帯のアダルトとマスターで好勝負続出 アダルトでは広緒が全試合一本で優勝して黒帯に マスターは西潟が無差別制覇の歴史的勝利



稲野岳(CUTE)とアレクサンドレ・サントス(OVER LIMIT BJJ)のマスター4黒帯フェザーのワンマッチ決勝は互いにペナルティが入っていく泥試合で稲野が辛勝。



巧みなガードワークに定評がある渡辺瑠里子(Axis)が女子アダルト青帯フェザーで2試合連続の一本勝ちで優勝。決勝戦は阿部真奈美(アプレイズ八王子)に絞めて一本勝ち。



女子アダルト青帯ライトフェザーのワンマッチ決勝戦は金子舞菜美(アプレイズ八王子)がクレア・リウ(Axis)に絞めを極めて、4:04一本勝ちで優勝を決めた。



SJJJF会長にしてYAWARA代表の村田良蔵がマスター3黒帯フェザーで貫禄の優勝。2試合とも極めての勝利で、SJJJF世界王者としての実力者ぶりを遺憾なく発揮した。



マスター4黒帯ライトフェザーで優勝の堀川雅弘(CARPE DIEM HIROO)はフラビオ・タシロ(OVERLIMIT BJJ HONJO)とのベテラン対決に挑み、互いにスリープし合うシーソーゲームを6-4で競り勝つ。



アダルト紫帯フェザーのワンマッチ決勝戦で腕十字を極めて優勝した上遠野玄宗(CARPE DIEM HIROO)は難敵のヴィニシウス・アラカキ(INFIGHT JAPAN)からの勝利だった。



怪我から復帰して以来、数多くの大会に参戦している白坂奏(CARPE DIEM HIROO)は今大会では3試合を勝ちぬいてアダルト紫帯ミドルで優勝。2024年はアメリカのテキサスで柔術修行を敢行する。



グスタボ・ツボネ(INFIGHT JAPAN)とピッサニ・クリストファー(Impacto BJJ)の決勝戦となったアダルト紫帯オープンクラスはグスタボが日系ブラジリアン対決を制して優勝。

ART.5

DATE:2023年12月17日(日)

ミュージックホール(東京・代々木)

ASJJF が主催するプロ柔術は全国各地の大会で活躍する選手たちが一堂に集結して戦うワンマッチ大会。今大会は海外からの参戦もあり大きな盛り上がりとなった。



**森戸と藤田の初対決は
メインイベントに相応しい大激戦
勝負はサドンデスで森戸が制す**

今大会のメインイベントはアダルト黒帯ライトの森戸新士 (Leos Jiu Jitsu academy / 藤田柔術) と藤田大 (パラエストラ千葉) の初対決。MMAでも活躍する藤田が果敢に攻めていき、森戸もそれに呼応するように熱戦を展開。本戦で決着つかずで延長戦のサドンデスで森戸がスイープし藤田を振り切って勝利を果たす。



大会開催直前に出場を直訴して緊急参戦となったダニーロ・ハマザギ(CARPE DIEM MITA)と瀬谷俊彦(トラスト柔術アカデミー)のアダルト黒帯ライトの試合がセミファイナル。試合はアグレッシブに攻めるダニーロが7:45 腕十字を極めて試合終了間際に一本勝ちしている。



アダルト黒帯フェザーの近藤卓也(TAISHO柔術)VSハッキネン・シウバ(カーロストヨタBJJ)は反則決着で不完全燃焼に終わる。ハッキネンが仕掛けたフットロックがヒザを内側に捻る行為として反則となり、1:15で近藤の反則勝ちとなった。

生田誠(トラスト柔術アカデミー)VS市橋虎徹(デラヒーバジャパン山梨)のマスター黒帯フェザーの試合はスリーブで先制した市橋を生田が猛追する展開となり、試合終了間際にスリーブ&パスで生田が5-2の大逆転勝利をモノにした。



ASJJFでは選手兼レフェリーとしても活躍するホドリゴ・ソウザ (Impacto BJJ) と岡澤 弘太 (CARPE DIEM MACHIDA) は岡澤が3:40 送り襟絞めを極めて一本勝ち。

ASJJFのジャパンランキングでマスター黒帯ミドル・1位のチアゴ・トサウ(IMPACTO BJJ)がART初参戦。渡邊敬之(Axis一宮)を相手に送り襟絞めを極め、1:45の秒殺勝利を挙げている。



はるばるベトナムから参戦のグエン・スアン・クン(OVERLIMIT BJJ JAPAN)と笹田和朗(T-BLOOD)のマスター茶帯ライトフェザーの試合はグエンが得意とするハーフガードのスイープが冴え渡り4-2で勝利。



両者ともまだジュブナイルだがアダルトでも活躍中の高橋瑞希(クロウフォレスト)とグスタボ・ナカハラ(カーロストヨタBJJ)はアダルト青帯ライトとして組まれ、2:55 肩固めで高橋が一本勝ち。



大会でほぼ負けなしの快進撃を続ける佐野カイラ(Axis)と北関東の新鋭・エイトル・アモリン(Impacto BJJ)のジュブナイル青帯フェザーの試合はスイープ & パスを決めた佐野が5-2で勝ち名乗り。





井田侂 (Impacto BJJ) vs ルーカス・ナラザキ (チェックマットジャパン) の過去の戦績は1勝1敗でこの試合が決着戦。結果は4:59 三角絞めを極めた井田がライバル関係に終止符を打つ。



女子ジュブナイル青帯のランキング1位のニコリー・セキタニ (セキタニ柔術アカデミー) とレベッカ・スガヌマ (EVOX BJJ) の試合はニコリーが1:15 腕十字を極め、さすがの強さを見せた。



いまキッズ女子でトップ選手となりつつあるアナベラ・リンカ・ウォーカー (Leos Jiu Jitsu Academy) が阿部みこと (クロウフォレスト) に4-2で勝利。阿部は惜敗も体格差のある試合で大健闘だった。



大会の幕開けはブレティン灰帯ミドルの伊藤カイキ (チェックマットジャパン) VS 高橋勲輔 (SORA BJJ) のキッズマッチ。まだ灰帯になったばかりの伊藤が0:43 腕十字で一本勝ち。



PPVの実況はいつもお馴染みのセラチェン春山と解説陣には塚田市太郎 & 前澤智が務めた。塚田は解説初挑戦だったが、いつものマシンガントークで配信を盛り上げていた。

ART CHALLENGE.4

DATE:2023年12月17日(日)

ミュージックホール(東京・代々木)

プロ柔術「ART.5」のオープニングマッチとして行われた今大会は参加費を払って出場するプロアママッチ。手軽にプロと同じ舞台で試合ができることで人気となっている。



アダルト紫帯ライトの井田黎(Ultimate Jiu Jitsu Club)VSソニョク・ジョン(アリアンシコリア)の日韓戦がメインの予定だったがソニョクが計量オーバーのため、井田が不戦勝となってしまった。



加藤則夫(Impacto BJJ)はマスター5青帯のランキング1位の選手で、この試合でもその実力者ぶりを存分に発揮。マスター青帯フェザーでジョナード・シガゴ(Ambitious Jiu Jitsu)から12-4で勝利。



群馬のヒカルド・ミヤサト(INFIGHT JAPAN)と愛知のVSジュニオール・ナガセ(EVOX BJJ)のジュブナイル青帯ライトフェザー・日系ブラジリアン対決がセミファイナル。試合はジュニオールが4:58腕十字で一本勝ち。

プロと同じ場で戦えるのは大きな魅力 キッズや女の子も元気いっぱいの試合ぶり



女子ティーン級帯ライトフェザーの桑原結衣(トライフォース東中野) VSフェルナンダ・アユミ(INFIGHT JAPAN)は序盤はフェルナンダがパスを決めるも中盤以降は桑原が逆転し、7-3で桑原勝利。



わずか40秒で腕十字を極めて瞬殺一本勝ちをしたアルトゥール・カバウカンチ(セキタニ柔術アカデミー)。ヤン・タカラ(EVOX BJJ)に対しアグレッションに攻めていき、素早く腕十字を仕掛けるとそのまま極め切った。



本戦に出場したアナベラの妹のメイザベラ・モモカ・ウォーカー (Leos Jiu Jitsu academy)はチャレンジに出場。女子ユース級帯フェザーで吉村柚咲(X-TREME EBINA)と対戦も0:40 腕十字で敗れる。



女子ユース級帯フェザーの江口涙(トライフォース東中野)vsパオラ・イブチ(INFIGHT JAPAN)は試合経験で勝る江口が1:14 腕十字で一本勝ち。



女子キッズ級帯灰帯フェザーの根津柚花(トラスト柔術アカデミー)vs井谷緋那(CARPE DIEM)は引き込みからの腕十字で根津が20秒で勝利。



ホブソン・タンノ「シュシャ」の長男であるリュウジ・タンノ(CARPE DIEM FUKAGAWA)に対し、腕十字で勝利した木村明蓮(JUMP Fight Club)、サドダンスに及ぶ接戦を制す。

NAGOYA INTERNATIONAL 2023

DATE: 2023年12月23日(祝)

VENUE: 愛知県武道館

2023年の年度最終戦となった今大会。師走の真ただ中、しかも祝日での開催ながらキッズもアダルトも大盛況で柔術熱の高騰ぶりが感じられた。



今大会のベストマッチは加古拓渡 (GSB) vs マテウス・ヒロミ (Impacto BJJ) のアダルト黒帯オープンクラス決勝戦。終始優位に試合を進めた加古が最後は腕十字を極めて圧巻のフィニッシュ。

アダルト黒帯オープン制覇の加古拓渡がベストマッチ ハッキネンも悲願の黒帯初優勝を果たす



黒帯になってから1年弱、いまだ優勝経験がなかったハッキネン・シウバ(カーロストヨタBJJ)が今大会で悲願の初優勝。アダルト黒帯ライトフェザーで優勝して喜びを爆発させた。



中国でインストラクターをしているブラジル人のレアンドロ・カルバーリョ(鄭夢柔術)が来日して大会参戦。ノーギのアダルト黒帯フェザーで優勝、ギではマスター3黒帯フェザーでも優勝している。



ニコリー・セキタニ、吉永愛という強豪2人を敗って女子アダルト青帯オープンクラスを制覇した上田真央(吹田柔術)。柔道仕込みの袷袢固めが猛威を振るって極めまくった。

一時期は病気で柔術を休んでいたが無事に回復し試合復帰のレティシア・セラノ(EVOX BJJ)が女子ティーン橙帯ライトフェザーで優勝。決勝戦は柔道でも活躍する笠井折(BLUE MAX)から勝利した。



女子ジュニアティーン橙帯フェザーで優勝した中川輝世羅(ALMA FIGHT GYM HOMIES GIFU)。1回戦は絞め、決勝戦は腕十字を極めて2試合連続の一本勝ちで金メダル獲得。



ジュブナイル青帯オープンクラス決勝戦はグスタボ・ナカハラ(カーロストヨタBJJ)とカエウ・ミゲル(EVOX BJJ)の日系ブラジリアン・ティーンエイジャー対決。結果はグスタボが三角絞めで極めた。



ティーン橙帯フェザーのワンマッチ決勝戦、長谷川悠(ボンサイ柔術)と高松一喜(CARPE DIEM MITA)の試合は2-0で長谷川が勝利した。が僅差の内容だった。



最近レスリング練習に熱を入れている佐藤樹生(CARPE DIEM FUKAGAWA)が激戦区のユース灰帯フェザーで優勝。準決勝以外は一本勝ちで極めも強くなってきている。



チームポイント・アダルトで優勝したのはImpacto BJJで2位はカーロストヨタBJJ、3位はセキタニ柔術アカデミーと、日系ブラジリアン系のジムで表彰台を独占した。

KYUSHU INTERNATIONAL OPEN 2023

DATE:2023年12月10日(日)

VENUE:基山町総合体育館(佐賀県)

年に2回の大会開催が定例化されている ASJJF の九州大会。九州エリアでは最大規模を誇る今大会はキッズからアダルトまで多数の強豪が集って覇を競っている。



九州地区のキッズチームはTATORUが大挙として選手を送り込み、大会でも好成績を残してチームポイントで圧勝。2023年シーズンは大会連覇を果たしている。



トーマス・コーンフィールド(ボルカノ柔術)がオープングラスでも決勝戦に進出もキム・ヨンナム(パラエストラコリア)に敗れ準優勝。3位は大場慎之介(パラエストラ東京)が入賞。

キッズのチーム優勝は

TATORU が連覇

アダルト茶帯オープン決勝は

米韓対決に



アダルト茶帯スーパーヘビーは3人巴戦で西口博樹(CARPE DIEM KURUME)とトーマス・コーンフィールド(ボルカノ柔術)の決勝戦となった。この日米対決を制した西口が優勝。



女子マスター1青帯は東佑香(バッファロー柔術)がWゴールド獲得。フェザーとオープングラスを優勝し2つの金メダルを手にした。



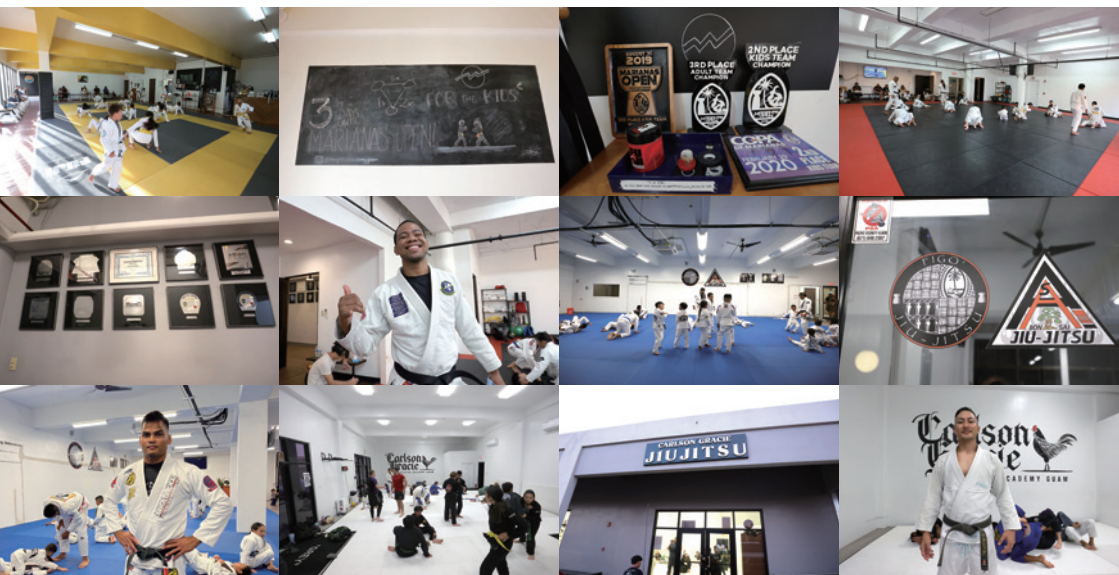
キッズカテゴリーで活躍していたのはコヤマ・ユミコ(Yawara ya)。女子フレティーン灰帯ライトフェザーの決勝戦でARTチャレンジにも出場したイザベラ・ウォーカー (LEOS Jiu Jitsu Academy) に勝利して優勝している。



BJJ GYM in GUAM

グアム柔術ジムガイド

いま急成長しているグアムの柔術シーン。コロナ禍を経て観光産業も復活し、
観光ついでにグアムで柔術の出稽古をするのもいいのではないだろうか。
ここではグアムの主な柔術ジムを紹介する。





1 | ATOS GUAM

ATOS Guamはマイク・カルブリードとジョン・メノの2人で設立した ATOS の Guam 支部。オープンから1年ほどでGuamのトップアカデミーとなった。完全に競技志向のジムで、ATOS本部でインストラクターをしていたマイク指揮の元、激しい練習が行われている。

INFORMATION

ADDRESS

941, 2 Pale San Vitores Rd Unit H-1,
Tamuning

WEB SITE

<https://atosjiujitsugum.com/>



2 | MACHADO GUAM

ここはかの有名なマチャド兄弟のカーロス・マチャドのGuam支部として活動。スティール・アスレティクスというジムの一角にあるマットスペースでクラスを開講中。ケージも併設されており、MMAやキックボクシングのクラスもあり、柔術だけでなく様々な格闘技が学べる。

INFORMATION

ADDRESS

643 14 Suite W1, Tamuning

WEB SITE

<https://steelathleticsguam.com/>



3 | TPA (The Pound Academy)

TPA=The Pound Academyの略で、元はアリアンシ系のジムとして運営されていたがアソシエーションフィーの高騰により昨年から独立してリニューアル。このジムは繁華街からやや離れたエリアにあり、その他のジムとも一線を画しているのも特徴。

INFORMATION

■ ADDRESS

138 Chalan Katne, Summer Town Estates Suite 104, Dededo

■ WEB SITE

<https://www.facebook.com/ThePoundAcademy/>



4 | GUMA (Guam Martial Arts Academy)

グアム出身のMMAファイターである“スーパーサイヤン”ことジョン・タックが主宰するGUMAは野外のガレージの一角にマットを敷いて練習している一風変わったジム。まだサークルのような雰囲気だが現在は常設ジムを建設中で完成次第移転予定とのこと。

INFORMATION

■ ADDRESS

127 Chalan Pasaheru, Tamuning

■ INSTAGRAM

<https://www.instagram.com/guammartialartsacademy>



5 | Heights Academy

いまやグアムでの1・2を争うほどの規模となったハイツアカデミー。これまでのキッズ中心のジム運営だったのが、近隣ジムからの移籍が多くなってオトナのメンバーも急増中。とはいえキッズ部門は相変わらずの盛況ぶりで活気があり、グアムのキッズシーンを盛り上げている。

INFORMATION

ADDRESS

347 W O'Brien Dr, Hagatna

INSTAGRAM

<https://www.instagram.com/heightsacademyguam/>



6 | Purebred BJJ Guam

ハイツアカデミーから車で5分の場所にあるPUREBREDグアムはグアムで一番の歴史があるジム。2000年代にオープンしてから移転を繰り返しつつ規模を拡大し、現在に至る。インストラクターたちも現役で試合に出ており、コンペティションにも意欲的だ。

INFORMATION

ADDRESS

265 Chalan Santo Papa Juan Pablo Dos, Hagatna

WEB SITE

<https://purebredbjjguam.com/>



7 | FIGO' Jiu Jitsu

FIGO'(フィーゴ)は日本にあるボンサイ柔術とアソシエーションを組んでるジムでボンサイ柔術のグアム支部となっている。昨年4月に移転してリニューアルオープンしたばかりで、まだ真新しいマットが新鮮だった。ここはレイスとイライジャのレイジェス兄弟がメインインストラクターだ。

INFORMATION

ADDRESS

200 Chalan Pasaheru, Tamuning

INSTAGRAM

https://www.instagram.com/figo_bonsai/



8 | Carlson Gracie Guam

カーウソングレイシー・グアムは本部ジムが台風の影響をモロに受けて建物が損傷してしまい目下、復旧作業中。なので現在はトゥモン支部のみで活動中。ここでインストラクターをしているハヤトは日本語OKなので英語が話せない人でも気軽に行くことができるだろう。

INFORMATION

ADDRESS

846 Marine Corps Dr, Tamuning

WEB SITE

<https://www.jiujitsuguam.com/upper-tumon-location.html>

トラベルパック獲得条件は以下の通り

■チームポイント

※アダルト
1位・2個
2位・1個
3位・1個

※マスター
1位・2個
2位・1個
3位・1個

※キッズ
1位・2個 (2個・保護者)
2位・1個 (1個・保護者)
3位・1個 (1個・保護者)

■個人(各カテゴリー優勝者に贈呈)

【ジュニアル】

青帯オープンクラス

【アダルト】

青帯オープンクラス・ライト
青帯オープンクラス・ヘビー
紫帯オープンクラス・ライト
紫帯オープンクラス・ヘビー
茶帯オープンクラス・ライト
茶帯オープンクラス・ヘビー
黒帯オープンクラス・ライト
黒帯オープンクラス・ヘビー
女子青帯オープンクラス
女子紫帯オープンクラス
女子茶帯オープンクラス
女子黒帯オープンクラス・ライト
女子黒帯オープンクラス・ヘビー

【マスター1】

黒帯オープンクラス・ライト
黒帯オープンクラス・ヘビー
茶帯オープンクラス・ヘビー

【マスター3】

黒帯オープンクラス・ライト
黒帯オープンクラス・ヘビー

Guamで開催のMARIANAS OPENへのトラベルパックを35人分贈呈！ MARIANAS PRO JAPAN 2024

いよいよ3月に開催間近となった「マリアナスプロジャパン」。今大会は Guam 政府観光局の協賛で開催される国際大会で、昨年に引き続きビッグイベントとして行われる。昨年の大会では Guam から大挙として選手が参戦し、キッズからアダルト、マスターまで国際色豊かな対戦が続出して多いに盛り上がった。今年も昨年と同様に Guam で開催される春の大会「コパ・デ・マリアナス」で好成績を残したチームの選手たちが参戦予定となっており、またもや日本vs Guam の対抗戦が勃発するのは間違いない。

このように海外に行かずとも日本にいながらにして海外勢と対戦できるのは国際大会ならではの。また今大会で優勝した選手たちには10月に Guam で開催される「マリアナスオープン」に出場するためのトラベルパックが贈呈される。このトラベルパックとは日本から Guam までの航空券、大会期間中のホテル、そして大会出場費用の免除というもの。金額に換算すると約20万円相当のトラベルパックがなんと35人分も用意されているというのだから、これを見逃す手はないだろう。日本で開催される「マリアナ

スプロジャパン」で勝てば Guam に行くチャンス。大会は3/9(土)、愛知県武道館で開催され、現在参加申し込み受付中だ。



この方たちが Guam 政府観光局の方々。左からディー・エルナンデス、カール・T.C.・グティエレス(CEO)、クレイグ・カマチョ。



DUMAU

www.dumauasia.com



JAPAN RANKING 2023 Result

結果
発表

2023年の1年間で大会に入賞すると獲得できる選手ポイントでランキング1位を獲得し、なおかつ個人ポイントを100ポイント以上獲得した選手たちの栄誉を讃えて顔写真付きで一挙紹介。またここで紹介しているランキング1位&100ポイントを超えた選手たちは2024年シーズンでの大会参加費が無料になる特典も獲得。おめでとうございます。

マスター1
黒帯



チアゴ・トサワ
Thiago Tosawa
Impacto BJJ

マスター3
黒帯




ヨースキ・ストー
Yoski Suto
Impacto BJJ

マスター2
紫帯



ウェリントン・トラバギーニ
Wellington Travagini
Impacto BJJ

女子アダルト
青帯



ハファエラ・アユミ
Rafaela Ayumi
INFIGHT JAPAN



マスター1
青帯



後藤 大
Dai Goto
INFIGHT JAPAN



女子マスター1
青帯



カルラ・ウエダ
Karla Ueda
Impacto BJJ



マスター2
青帯



中野雄紀
Yuuki Nakano
福住柔術



マスター5
青帯



加藤則夫
Norio Kato
Impacto BJJ



ジュブナイル
青帯



グスタボ・ナカハラ
Gustavo Nakahara
カーロストヨタBJJ



女子ジュブナイル
青帯



ニコリー・セキタニ
Nicolly Sekitani
セキタニ柔術アカデミー



ティーン 橙帯



エンゾ・イマザト
Enzo Iamazato
カーロストヨタBJJ



ティーン 黄帯



ジョアオ・コバヤシ
Joao Kobayashi
カーロストヨタBJJ



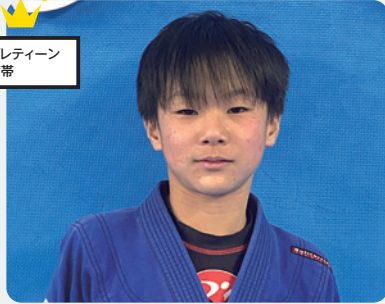
ジュニア
ティーン 黄帯



富田健太郎
Kentaro Tomita
正道会館菱川道場



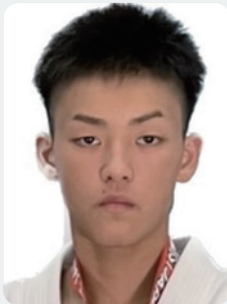
プレティーン
黄帯



宮城壮一朗
Soichiro Miyagi
FREEDOM@OZ



ティーン 灰帯



小黒剣政
Kensei Oguro
Impacto BJJ



ユース 灰帯



久保田琉偉
Rui Kubota
パラエストラ北九州

JAPAN RANKING 2023 Result



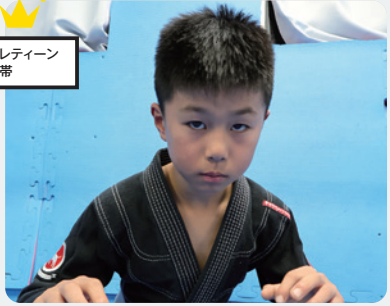
ジュニア
ティーン 灰帯



小林叶和
Towa Kobayashi
CARPE DIEM ASHIYA



フレティー
ン 灰帯



宮城 碩
Hiroshi Miyagi
FREEDOM@OZ



アダルト 白帯



浅野功暉
Koki Asano
クサノチーム



ティーン 白帯



田代 丈
Jo tashiro
Impacto BJJ



フレティー
ン 白帯



伊藤カイキ
Kaiki Ito
チェックマットジャパン



キンダガ
ーデン 白帯



川口蒼音
Leon Kawaguchi
Impacto BJJ



ASJJF JAPAN RANKING 2023 女子アダルト青帯ランキング1位

Rafaela Ayumi

ハファエラ・アユミ

INFIGHT JAPAN

私はまだ14歳で緑帯だけど自分のカテゴリーでは試合が組めないで青帯のジュブナイルとアダルトの両方に出ていました。でもランキング1位になったので途中からアダルト青帯の試合に専念して、その甲斐あってランキング1位になれたので嬉しいです。でもジュブナイル青帯でランキング1位の二

コリーにはいつも負けてるので、今年はニコリーに勝つこと、あとはSJJIFワールドで優勝して世界王者になるのが目標です。



ASJJF JAPAN RANKING 2023 マスター5 青帯ランキング1位

Norio Kato

加藤剛夫

Impacto BJJ

2023年シーズンのランキング1位獲得はすごく嬉しいです。だいたい10大会ほどに出ましたが、青帯ライトフェザーで出場した大会は全て優勝できました。大会に出るモチベーションは自分と同じようなマスター世代の選手たち、40代~50代の選手たちに、この年齢でも頑張れば輝けるんだというのを見せたかったからです。

今年の目標はSJJIFワールドのマスター5青帯ライトフェザーで優勝して世界王者になることなので、引き続き練習と試合を頑張ります。



ASJJF JAPAN RANKING 2023 ティーン橙帯ランキング1位

Enzo Iamazato

エンゾ・イマザト

カーロストヨタ BJJ

昨年はランキング1位になったので今年もまたランキング1位を狙っていきます。昨年はもう何大会に出たか覚えてないぐらい出ました。2023年シーズンでランキング1位になったのは橙帯ですが、いまはもう緑帯になるので、ジュブナイル青帯でも試合に出ています。やはりキッズの試合とジュブナイル青帯の試合

では強さが全然違うので勝つのは多変です。できるなら緑帯とジュブナイル青帯の両方でランキング1位になりたいですね。





ASJJF JAPAN RANKING 2023 ジュブナイル青帯ランキング1位

Gustavo Nakahara

グスタボ・ナカハラ
カーロストヨタ BJJ



2022年の12月に青帯になって、1年間を通して大会にたくさん出て、その成果としてランキング1位になれたのはすごく満足感があります。大会では勝つことも多かったのですが、負けたこともあったので、今年は負けないようにしていきたいです。自分が練習しているカーロストヨタBJJはキッズやジュブナイルで試合に出てる

選手が多いので、いい練習ができています。そして試合では極めて勝つことを考えてるのもいい結果に繋がったと思っています。



ASJJF JAPAN RANKING 2023 女子ジュブナイル青帯ランキング1位

Nicolly Sekitani

ニコリー・セキタニ
セキタニ柔術アカデミー



すごく嬉しいです。大変な試合もたくさんあったんですけど、厳しい練習を続けたおかげでいい結果を残すことができました。2023年シーズンは地元の静岡の大会だけでなく、東京や大阪、名古屋、沖縄にも遠征して大会に出て勝てました。でも2試合で負けたので、今年は全勝を目標にして引き続き頑張っていくた

いです。今年は無差別でも勝てるように練習することと、イエス様のことを皆さんに伝えられるようにもなりたいです。



ASJJF JAPAN RANKING 2023 ティーン黄帯ランキング1位

João Kobayashi

ジョアオ・コバヤシ
カーロストヨタ BJJ




いっぱい練習して頑張ってきたので、このランキング1位になれたことはすごく嬉しいです。1年間で10大会ぐらいに出たので、練習と試合がずっと続いて、緊張感がありました。2試合だけは負けたけど、それ以外は勝つことができたので、自信になりました。今年の目標はその負けた試合で戦った選手に勝つことで

す。そして今年からはジュブナイル青帯になったので、このカテゴリーでもランキング1位になれるように練習と試合を頑張ります。




JAPAN RANKING 2023 TEAM POINT

アダルト

 **Impacto BJJ**


2nd
Over Limit BJJ
3rd
INFIGHT JAPAN

キッズ

 **Impacto BJJ**


2nd
EVOX BJJ
3rd
CARPE DIEM ASHIYA

ノーギ・アダルト

 **セキタニ柔術アカデミー**

2nd
カーロストヨタ BJJ
3rd
Impacto BJJ

ノーギ・キッズ

 **Impacto BJJ**

2nd
高本道場
3rd
I9Jitsu



ASJF JAPAN RANKING 2023 アダルト、キッズ、ノーギ・キッズ 1位

Impacto BJJ

代表・ヨースキ・ストー

「ASJFが制定しているチームポイント4部門のうち、3部門でランキング1位を獲れたのは凄く嬉しいです。これは自分だけでなくチームのみんなが頑張ってくれた結果なので、Impacto BJJのチームのみんなにお礼を言いたいです。いまImpacto BJJは全国に13個のチームがあって、支部もどんどん増えていってます。そしてそのみんなそれぞれが強いチームを作ろうと努力していま

す。また自分も各チームを回ってセミナーをしたり、帯授与をしたりしてチームの結束を高めています。今回はノーギのアダルトでだけランキング1位を獲れなかったので来シーズンはアダルトのノーギでも1位を狙って4部門全部で1位のチームポイントのグランドスラムを目標にします。Impacto BJJのチームのみんな、ありがとう。これからもみんなで力を合わせて頑張りましょう。」



JAPAN RANKING 2024

ASJJF ではポイント制による年間ランキングを設けており、成績優秀者には表彰や翌年度の大会の出場費免除などの特典が与えられます。

大会のグレードと獲得ポイント数



A SJJFならびにSJJJFが主催、または提携する大会にはランキングポイントが定められており、入賞者には大会の格付けに応じたポイントが与えられます(上図参照)。ポイントは一年を通じ、獲得するとともに積み重ねられ、ポイント数

によるランキングが制定されます。ランキングは各カテゴリーで設けられ(帯別、性別、年齢別)、成績優秀者^{※1}は表彰、さらに各カテゴリーのランキング1位の選手には、2024年に日本国内で開催されるASJJF、SJJJF主催大会への参加費用が免除

される特典^{※2※3}もありますので、皆様には奮って大会へご参加いただきたいと思います。

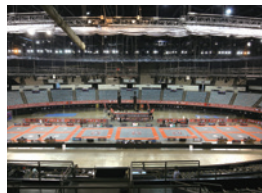
なお、当ランキングは2024年1月以降開催される大会から対象となりますので、お間違えのないよう詳細はASJJFのHPでご確認ください。

※1:各カテゴリーには最低獲得ポイントが定められており、これを超えた選手のみの適用となります。 ※2:200ポイント以上を獲得したランキング1位の選手が対象。
※3:アジアランキングで300ポイント以上を獲得した選手には参加費用免除に加え10万円が贈呈されます。

SJJIF WORLDS 2024 日本開催決定！



SJJIF会長のジョアオ・シウバとASJJF会長のエジソン・カゴハラ。この2人の尽力により今年のSJJIFワールド・日本開催が実現した。



これまではアメリカやブラジルで開催されていたSJJIFワールド。今年は日本開催で、これは初めてのアジア圏での開催となる。日本で行われる初めての世界大会、これは出場すべきだろう。

つ たび SJJIF の世界大会である「SJJIF ワールド」の日本開催が決定した。今大会を主催する SJJIF = スポーツ柔術国際連盟とはエジソン・カゴハラ会長の ASJJF = アジアスポーツ柔術連盟と村田良蔵会長の SJJIF = スポーツ柔術日本連盟の上位組織で、会長はジョアオ・シウバ。国際連盟 = SJJIF > アジア連盟 = ASJJF > 日本連盟 = SJJIF という位置づけになる。これまで SJJIF ワールドはアメリカ開催が多く、2019年まではLAで、それ以降はラスベガスやテキサスで開催されており、昨年はブラジルで

開催されていた。そして今年は日本での開催となり、SJJIF ワールドはアメリカ、ブラジルに続く3か国目の開催となった。今後はこれまでのように開催地が転戦となるのか、日本で定着するのは不明だが、この SJJIF ワールドの日本開催は歓迎すべきことだ。開催日程は9/26～29の4日間で、4日間連続で大会が開催されるのも日本で初めてのこと。また今大会はギ&ノーギだけでなくパラ柔術、キッズも同時開催され、特にパラとキッズの世界大会はその他の連盟では開催されていないため、肩書だけでいえば SJJIF ワールド

が最高位のものとなる。この SJJIF ワールドの主催は SJJIF で、大会の運営は ASJJF が行うことになっており、また世界大会開催に併せて国際連盟会議も行うこととなっている。この国際連盟会議には世界各地の連盟会長が集う予定で、この他にルール講習会の開催や開会式的なセレモニーも予定されており、この世界大会開催に伴って、様々なイベントが行われる見込みとのこと。日本初開催となる SJJIF ワールド、今回が最後で最後になる可能性もあるので、迷わずに出場することをお勧めしたい。

ASJFF Upcoming Events 2024 March-November



**2024 Marianas Pro
Japan (gi Only)**
愛知県
愛知県武道館
3月9日(土)



**Asia Jiu Jitsu Cup
2024**
愛知県
愛知県武道館
3月10日(日)



Asia No-gi Cup 2024
愛知県
愛知県武道館
3月10日(日)



**Shikoku Open
Jiu Jitsu
Championship 2024**
徳島県
ソイジョイ武道館
3月17日(日)



**Okinawa
International Open
Jiu Jitsu
Championship 2024**
沖縄県
沖縄市武道場
3月30日(土)



**Tokyo International
Jiu Jitsu
Championship 2024**
東京都
墨田区総合体育館
4月6日(土)



**Tokyo International
Kids Jiu Jitsu
Championship 2024**
東京都
墨田区総合体育館
4月6日(土)



**Tokyo International
Master Jiu Jitsu
Championship 2024**
東京都
墨田区総合体育館
4月7日(日)



**Dumau
International
Jiu Jitsu
Championship 2024**
愛知県
青山記念武道館
5月3日(金+祝)・4日(土)



**Asia
Masters Jiu Jitsu
Championship 2024**
東京都
Genスポーツパレス
6月8日(土)・9日(日)



**Asia
Kids Jiu Jitsu
Championship 2024**
東京都
Genスポーツパレス
6月8日(土)



**Sendai International
Open Jiu Jitsu
Championship 2024**
宮城県
仙台市武道館
6月23日(日)



**XXI Copa Dumau De
Jiu Jitsu 2024**
愛知県
愛知県武道館
7月15日(月+祝)



**Asian
Open Jiu Jitsu
Championship 2024**
愛知県
愛知県武道館
11月2日(土)



**SJJFF
Hokkaido Jiu Jitsu
Championship 2024**
北海道
北ガスアリーナ札幌46
3月17日(日)



**SJJFF
The 1st Reversal
Jiu Jitsu Cup
in Tokyo**
東京都
国立代々木競技場
第二体育館
4月28日(日)・29日(月+祝)



**SJJFF
春季柔術甲子園 2024**
東京都
国立代々木競技場
第二体育館
4月28日(日)



ASJFFの
ホームページ



SJJFFの
ホームページ



HEAT PRESS

PERSONALIZAÇÃO DE KIMONOS

ヒートプレス

カスタマイズBJJGI

✉ heatpressbjjgi@gmail.com

📷 [HEATPRESSBJJ](https://www.instagram.com/HEATPRESSBJJ)





KINGZ

チャンピオンも愛用するKINGZ



www.kingz.jp

[@kingz.jp](https://www.instagram.com/kingz.jp)



JIU JITSU TODAY

【発行】



Asian Sport Jiu-jitsu Federation